

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2022年5月発行

No. **186**

3月 6月 9月 12月

令和4年3月定例会

議案概要

新年度予算 P.2
令和4年度主な事業

委員会審査

最古級ピアノ P.4
本庁で展示・演奏も

委員会審査

38 窓口で導入 P.5
キャッシュレス決済

一般質問

デジタル活用 P.9
シニア層への支援

一般質問

小中学校連携 P.10
一貫性ある教育指導へ

一般質問

フレイル予防 P.11
各種データを活用



今号の表紙
第46回桜まつり

3月26日から4月3日にかけて春の風物詩である桜まつりが行われました。

青空の下、満開に咲き誇る桜に多くの市民が見とれていました。

市民公園ではミニトレインの運行があり、マスク越しからでも子どもたちの嬉しそうな様子が伝わってきました。

代表・一般質問

12人が
市政を問う P.8~

おさんぽマルシェで賑わいを創出
(関連記事は3ページ)



令和4年度の 主な事業を紹介

「明日へつなぐ、みんなにやさしい予算」
一般会計で533億2千万円を予算計上

新規事業を「誇り・やさしさ・活力」の3つに分類

市の令和4年度当初予算の規模は、一般会計で533億2千万円、前年度当初比0・5%の増となりました。

令和4年度当初予算として、新型コロナウイルス感染症対策や、国や県の支援策の隙間になる部分への支援の拡充は継続しつつも、ポストコロナの「つながりづくり」を念頭に、あらゆる世代、境遇の方々に優しい事業を数多く盛り込んだ「明日へつなぐ、みんなにやさしい予算」が組まれました。

このページでは、新年度の主な事業の中から新規・拡充の事業を中心に、総合計画の基本理念である「誇り」「やさしさ」「活力」の3つに分類して紹介していきます。

誇り

不登校対策事業

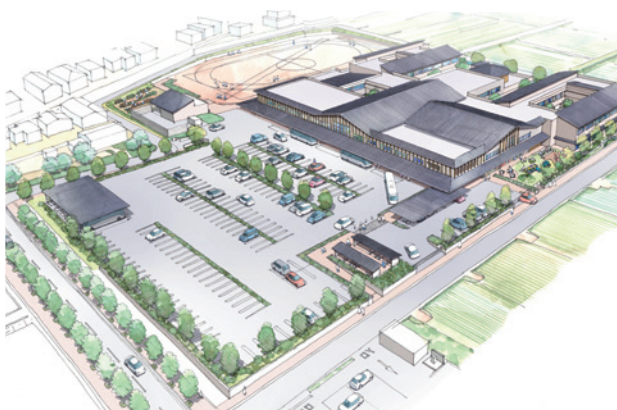
不登校児童生徒が、一歩を踏み出すための場所である既存の「さくらなか」に加え、前渡西町の前宮保育園跡地を活用した「さくらまえみや」を、新たに10月から開所します。

郷土資料図書デジタル化事業

貴重な郷土資料図書のうち、特に劣化が進んだ150点をデジタル化し、電子図書館などで利用できるようにします。

新特別支援学校整備事業

令和7年度の開校を目標に、知的障がい、肢体不自由、病弱の児童生徒が小中高一貫で学ぶ



鵜沼羽場町に建設予定の新特別支援学校のイメージパース

こののできる新たな特別支援学校の整備を進めます。

令和4年度は、建築、外構の設計、用地取得のほか、造成工事を行います。

議案概要

令和4年3月定例会を2月25日から、3月25日まで、29日間開催しました。

令和4年度一般会計予算をはじめ、66案件を審議しました。
主な議案は以下のとおりです。

▶ 工事請負契約の変更（庁舎解体工事）

旧庁舎の解体工事中に、外壁パネル裏面からアスベストが発見されたため、除去工事に伴う工事請負金額の変更を行うものです。

▶ 学校給食費に関する条例

学校給食費を公会計化し、その徴収を学校ごとではなく、市が行うことなどを定めるものです。

▶ 新総合体育館整備基本計画策定に向けての要望決議

これから新総合体育館整備基本計画が策定されるにあたり、市議会としての要望事項をまとめ、市及び市教育委員会に要望するものです。

▶ ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議

ロシアによるウクライナ侵略を非難し、即時の攻撃停止と部隊のロシア国内への撤収を求めるとともに、国において日本国内の国民生活への影響対策に万全を尽くすことを市議会として求めるものです。

やさしさ

ヤングケアラー

支援体制強化事業

新たな社会問題とされている

②ヤングケアラーを早期に見出し、適切な支援につなげられるよう、社会的認知度の向上を図るための広報・啓発や、適切な支援について理解を深めるために教職員などに研修を行います。

②ヤングケアラー

一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと。

高齢者等ごみ出し支援事業

最寄りのごみ集積所までごみ

議会構成

3月定例会より、議会の役職や委員会構成が変わりました。



議長 坂澤博光 副議長 仙石浅善 監査委員 塚原 甫

総務常任委員会

◎指宿真弓 ○瀬川利生
杉山元則 吉岡 健
横山富士雄 岩田紀正

民生常任委員会

◎小島博彦 ○水野盛俊
永治明子 黒田昌弘
池戸一成 川瀬勝秀

経済教育常任委員会

◎五十川玲子 ○足立孝夫
波多野こうめ 塚原 甫
大竹大輔 仙石浅善

建設水道常任委員会

◎水野岳男 ○井戸田直人
古川明美 津田忠孝
坂澤博光 川嶋一生

議会運営委員会

◎川瀬勝秀 ○水野盛俊
杉山元則 瀬川利生
黒田昌弘 池戸一成

新総合体育館建設調査特別委員会

◎足立孝夫 ○瀬川利生
水野岳男 井戸田直人
小島博彦 五十川玲子
大竹大輔

◎委員長 ○副委員長

を出すことが困難な高齢者や障がい者の方を対象に、ごみの訪問収集を行うことで、いつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進します。

産婦健康診査事業

産後1カ月健診に加え、新たに産後2週間健診への助成を行い、育児不安や睡眠不足で体調を崩しやすい産後の心身の不調に対する早期支援を行います。

空家バンク事業

空き家の有効活用や移住定住の促進による地域活性化を図るため、空き家売りたい人と利用したい人をつなぐ「空家バンク」を開設します。

活力

前渡地区木曽川周辺整備事業

各務原浄化センターに隣接する敷地2ヘクタールについて、新規公園やサイクリングロードなどの整備を進めます。

かかみがはら

おさんぽマルシェ事業

おさんぽ感覚で気軽に楽しめるマルシェイベントを、岐阜県かがみがはら航空宇宙博物館の屋外スペースや、市内観光施設で年間を通じて開催します。

ハンドメイド雑貨のお店やキッチンカーなどが出店するほか、ミニコンサートや子どもの遊び広場などの開催により、子ども

から大人まで楽しめるイベントにします。

デザインマンホール設置事業

観光客の誘致や、下水道普及促進のため、マンホールのふたに市ゆかりの意匠を取り入れたデザインマンホールとマンホールカードを作成します。



デザインマンホールのイメージ

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

経済教育常任委員会

令和4年度一般会計予算

問 感染症対策が行われている宴会場などを15人以上で利用した場合に、1人当たり1500円を上限に費用の一部を補助する「地域交流応援補助事業」の目的と実施期間は。

答 コロナ禍で大きな影響を受けている宴会場を有する飲食店などへの支援と、コロナ禍で薄れてきたつながりを再生することを目的としている。実施期間は、約3カ月間を予定している。

問 アンティークピアノ活用事業のピアノはどういったものか。

答 那加吾妻町の民家に保管されていたもので、1828年から1866年頃に、英



150年以上前に製作されたアップライトピアノ

国ロンドンで製作された国内最古級のピアノである。

問 このピアノをどのように活用するのか。

答 専門のピアノ工房で修理された後、本庁舎高層棟の2階に展示するとともに、イベントの折には、実際に演奏することも考えている。

学校給食費に関する条例

問 学校給食費収入と食材料費支出を学校独自の会計で管理するのではなく、市の予算に計上し管理する「公会計」とするメリットは。

答 徴収業務が学校から離れることによる教職員の負担軽減、給食の安定供給、会計の明朗化につながる。

問 特別な理由があるときは給食費を減免するとのことだが、どのようなことが想定されるか。

答 新型コロナウイルスの影響により令和2年8月と9月分については給食費を無償にした。このように、全児童生徒が対象となるような災害などを想定している。

問 給食費を滞納した場合の対応は、今後どのようになるのか。

答 給食費の振り込みがされていない旨を、市から家庭に通知し、その後督促なども行う。

そして事前に同意している家庭については、児童手当から給食費を差し引いて支払いに充てる。

建設水道常任委員会

令和4年度一般会計予算

問 前渡地区木曽川周辺整備事業について、民間事業者が決まらなかった場合、市としてどのような基盤整備を予定しているか。

答 整備が進んでいるサイクリングロードが、かさだ広場から国の河川管理道路を経由し、愛岐大橋まで繋がるということを踏まえて、少なくともサイクリング利用者の拠点、あるいは休憩場所といった機能は持たせたいと考えている。



サイクリングロードを颯爽と走る利用者

問 市民公園リニューアル整備事業におけるパークリノベミーティングの開催予定は。

答 令和4年度は、参加者が主体となった実証実験を開催したいと考えており、その中で、公園を訪れる普段使いの方も含めて利用者の声を聞いていきたいと考えている。

総務常任委員会

令和4年度一般会計予算

問 キャッシュレス決済が、導入される市の施設と決済の種類は。

答 市民課、税の総合窓口、環境政策課、各サービスセンター、各ライフデザインセンター、北清掃センター、各公立保育所、施設振興公社の指定管理施設の福祉・スポーツ施設の合計38窓口での導入を予定している。

問 現時点では大手クレジットカード、交通系・流通系の電子マネー、二次元コードのアプリでの支払いを予定している。
市内にある管理されていない空き家の状況は。

答 令和2年度末で237件、令和3年3月1日現在で256件と増加傾向である。

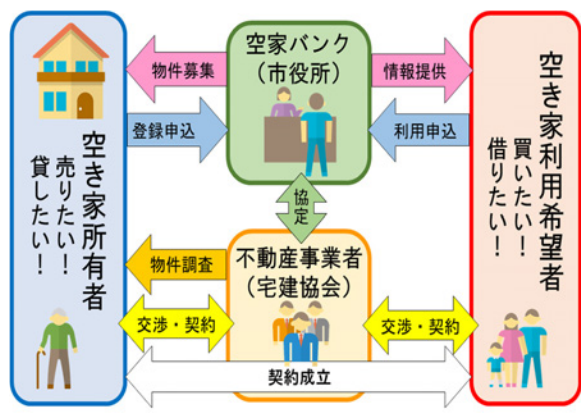
問 空き家を増やさないための取り組みは。

答 空き家の発生を予防するために、セミナーや相談会を予定している。

問 空き家になってしまったものについては、自治会長と連携しながら、家屋の状態が悪化しないように注意喚起したり、直すように依頼していく。

問 「空家バンク」の登録目標件数は。

答 令和4年度は、50件の登録を予定している。



空家バンクのしくみ

民生常任委員会

専決処分の承認（令和3年度一般会計予算（第14号））

問 令和4年1月に発生した、新型コロナウイルスの過誤接種により、市民1人分の血清を保管することとした経緯は。

答 事故調査委員会の委員からの助言もあり、将来的に健康被害の申し出があった場合に、その因果関係を調べるため、保管することとした。

問 二度と同様の事故が起きないようにするため、どのような対策を行うか。

答 接種する前にスタッフで全体ミーティングを行い、役割分担を全員で共有するとともに、緊急事態が発生した場合の仕組みを構築している。

令和4年度一般会計予算

問 市税収入を令和3年度に比べ16億3631万2千円の増と見込んだ主な要因は。

答 令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、市税収入が大幅に減るものと見込んでいたが、想定ほど大きな減収にな

らなかったことや、固定資産税のコロナ特例措置が終了したことなどから、コロナ前の令和2年度予算規模と同等と見込んでいるためである。

問 おくやみコーナー設置準備事業の目的と準備内容は。

答 死亡や相続に関する手続きは非常に多岐に渡り、ご遺族は大切な方が亡くなった悲しみの中で、慣れない手続きを進めなければならない、こうしたご遺族の負担を軽減することが目的である。

令和4年度は、関係各課の職員でワーキンググループを設置し、先進地視察や検討会などを行う。

百歳祝い金条例を廃止する条例

問 令和4年度に、市内において100歳を迎える高齢者の人数は。

答 令和4年2月1日現在で、76人である。

問 平成10年に祝い金の額を10万円に改定したが、当時の100歳の方の人数は。

答 平成10年当時は、1人である。

賛成…○ 反対…×

	政和クラブ											颯清会				公明※			共産※		みらい※		無会派	
	井戸田直人	塚原甫	小島博彦	指宿真弓	瀬川利生	仙石浅善	水野盛俊	坂澤博光	川嶋一生	足立孝夫	川瀬勝秀	大竹大輔	岩田紀正	津田忠孝	池戸一成	黒田昌弘	五十川玲子	横山富士雄	永治明子	波多野こうめ	古川明美	杉山元則	水野岳男	吉岡健
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○

※公明…市議会公明党／共産…日本共産党各務原市議会議員団／みらい…市民派・チームみらい
議長は表決には加わりませんので「—」で表記しています

議案等の種類	案件名
条 例	市街化調整区域における開発行為の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例
	建築審査会条例の一部を改正する条例
	国民健康保険条例の一部を改正する条例（追加分）
	市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
人 事	教育委員会委員の任命（大友克之氏）
	監査委員の選任（榎谷清美氏、塚原甫氏）
	公平委員会委員の選任（志賀一弘氏）
	固定資産評価審査委員会委員の選任（永井孝幸氏）
	農業委員会委員の任命（浅野諭孝氏、伊藤強氏、岩井孝朗氏、岩田宰氏、後藤善美氏、坂井利秋氏、永井博幸氏、早川信司氏、河合正嘉氏、川嶋綱男氏、木野昇氏、小林始氏、櫻井千佳子氏、土屋輝男氏、横山裕氏、阿部治徳氏、小島健司氏、佐々木清氏、藤井皆夫氏）
	人権擁護委員候補者の推薦（梶川清美氏、臼井喜久枝氏、廣井治美氏）
その他	市道路線の認定（市道蘇北 799 号線ほか 2 路線）
	// （市道那 1154 号線）
	市道路線の廃止（市道那 1092 号線）
議 員 提 案	ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議
	常任委員会の閉会中の継続調査

審議の結果

令和 4 年 3 月定例会

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

■ 賛否が分かれた議案

議案等の種類	案件名	会派名・所属議員名	議決結果
新年度予算	令和 4 年度一般会計予算		可決
	令和 4 年度国民健康保険事業特別会計予算		可決
	令和 4 年度介護保険事業特別会計予算		可決
	令和 4 年度後期高齢者医療事業特別会計予算		可決
	令和 4 年度下水道事業会計予算		可決
補正予算	令和 3 年度一般会計補正予算（第 15 号）		可決
	// （第 16 号）		可決
条例	国民保護協議会条例の一部を改正する条例		可決
	百歳祝い金条例を廃止する条例		可決
	常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		可決
	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例		可決
その他	工事請負契約の変更（庁舎解体工事）		同意
議員提案	新総合体育館整備基本計画策定に向けての要望決議		可決

■ 賛成全員の議案

議案等の種類	案件名
専決処分	専決処分の承認（令和 3 年度一般会計補正予算（第 14 号））
新年度予算	令和 4 年度水道事業会計予算
補正予算	令和 3 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
	令和 3 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
	令和 3 年度下水道事業会計補正予算（第 2 号）
	令和 3 年度一般会計補正予算（第 17 号）
条例	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
	消防団条例の一部を改正する条例
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
	手数料条例の一部を改正する条例
	国民健康保険条例の一部を改正する条例
	附属機関設置条例の一部を改正する条例（健康福祉部所管分）
	// （産業活力部・教育委員会所管分）
	学校給食費に関する条例
	学校給食センター条例の一部を改正する条例
	文化財保護条例の一部を改正する条例

代|表|質|問

代表質問とは、所属議員3人以上の会派がそれぞれの政策・主張に基づき市政に関して質問するものです。

これからの公共交通政策

政和クラブ 瀬川利生

問 公共交通政策の将来展望をどのように考えているか。

答 「市地域公共交通網形成計画」では、鉄道を軸とした公共交通ネットワークの形成・維持を目指し、市民、事業者、行政が一体となって公共交通の維持・活性化に取り組む姿を目指している。

今後、鉄道とバスやタクシーなどの乗り継ぎが不便であるなどの課題に対応しながら、本市の大きな特徴でもある16の鉄道駅の機能を最大限に活用し、公共交通の維持や活性化を図るため、ハードとソフトが一体となったまちづくりを進めていく。

問 今後、具体的に検討している取り組みは。

答 令和4年10月にはチョイソコかかみがはらを須衛・各務・八木山地区へ展開する予定である。

令和5年秋には、ふれあいバス那加線、鵜沼線を各停留所へ毎日同じ時刻にバスが到着するパターンダイヤ化や、チョイソコ鵜沼南エリアへの拡大を計画している。

令和6年以降には、新那加駅と蘇原駅の乗降場整備に合わせ、ふれあいバスの乗り入れを行い、交通結節点の強化に努める。

学校建替基本方針の策定

颯清会 津田忠孝

問 どのようなプロセスを経て、基本方針を策定するのか。

答 学校施設の建て替えには、今後40年間で、修繕費も含め約774億円もの費用が必要になると試算している。

これらに対処するため、市では既に学校施設整備基金を設置し、今後の学校施設の建て替えに対し、地域住民の要望にも応えられるよう、財政面での対応も整えてきた。

学校建替基本方針は、学識経験者、学校関係者、地域団体の方などで構成する策定委員会において、調査審議し、策定するものであり、その過程では、広く市民の声を聞くためにアンケートやワークショップなどを計画したいと考えている。

問 基本方針策定後の大まかな構想は。

答 学校建替基本方針で、方向性を示した後、「市学校教育系施設個別施設計画」に基づき、建て替えの優先順位の高い学校から個別に建替検討委員会を立ち上げる。

そこで学校関係者や地域の方の意見を聞きながら、地域とともにある学校づくりを目指した建替事業を進めていく。

ポストコロナの先の都市像

市議会公明党 黒田昌弘

問 「つながりづくり」の先にある都市像をどのように見据えているか。

答 「元気で明るい活力のあるまち」こそが、ポストコロナの先に見据える本市の都市像である。

ずっとこのまちで、みんなが笑顔で暮らしていけるよう、市民、自治会、各種団体、NPO、企業など「オール各務原」で本市を明日へとつないでいく。

問 子どもたちの未来につながる、核となる事業は。

答 令和4年度は、小中学校に導入されている旧式の電子黒板を大型の最新式ディスプレイに更新し、児童生徒に一人一台配備しているタブレット端末と合わせて活用すること、さらなる授業の充実を図る。

また、さまざまな理由により悩みを抱えている児童生徒への支援策として不登校対策事業のほか、心の教室相談員事業では、現在各中学校に配置している心の教室相談員を各小学校にも1人ずつ配置する。

その他、ヤングケアラーについて、理解を深めるための研修を教職員などへ実施する。

一般質問

3月定例会で一般質問をした議員（質問順）

波多野こうめ／指宿真弓／横山富士雄／大竹大輔／五十川玲子／
古川明美／杉山元則／永治明子／岩田紀正

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に対して質問しました。その一部を紹介します。

シニア層のデジタル活用を支援

講習会や出前講座を開催

問

シニア層へのデジタル活用支援の取り組みは。

答

本市では、生涯学習講座をはじめ、出前講座やパソコン初心者相談室、高校生ボランティアがスマホの初歩的な使い方を教える「ゼロスマカフェ」を開催している。

また、令和4年1月には市内の携帯ショップとボランティアの方のご協力をいただき、スマホをお持ちでない方でも参加できるスマートフォン体験講座を実施した。

問

今後の具体的なデジタル活用の取り組みは。

答

本市独自の取り組みとして、スマホアプリを活用したウォーキングフレイル予防



出前講座でスマホの活用方法を説明

事業、市役所窓口などのキャッシュレス決済導入事業に合わせ、シニア層を含めた市民への講習会や出前講座などを開催する。

問

市民公園のリニューアルに際し、樹木などを保全するための処置はどのようにしていくのか。

答

市は、これまで緑の基本計画に基づき、自然と共生する緑豊かなまちづくりを進めており、日常的に樹木の目視観察や剪定など、適正な保全に努めている。

市民公園リニューアル事業でも、緑を保全する方針に基づき、倒木の危険や視認性を悪くしている樹木などについては、安全性や防犯性を考慮し、剪定や、やむを得ず伐採などの処置を講じることもある。

問

リニューアルに際し、市民の声をどのように反映するか。

答

市民公園や中央図書館利用者のほか、小学校や大学などへのアンケートや、全戸

市民公園リニューアル

回覧によるウェブアンケートを行った結果、810人の幅広い世代からの回答をいただいた。これら多くの意見や多様な市民ニーズを計画に反映させ、市民公園リニューアル整備基本計画を策定している。

女性が活躍できる社会へ

問

女性向け企業説明会開催事業の取り組み内容は。

答

現在、ハローワーク岐阜と共同で設置した「シテイハローワーク各務原」に市独自の職員を配置し、履歴書の書き方指導や内職情報の提供、企業案内のほか、託児サービスを提供している。

令和4年度からは、新たにキャリアコンサルタントの資格を持ち、ハローワークのマザーズコーナーで女性の就職相談を経験した職員を配置し、女性に特化した相談体制の拡充を図る。

「コミュニティ・スクールの今後の展望」 連携型の小中学校を一層発展へ

問 小中学校の連携教育の成果と今後の展望は。

答 ②「コミュニティ・スクールの活動の一つに小中学校の連携があり、各中学校区それぞれの実情に応じたさまざまな取り組みが進められている。例えば、「川島はひとつ」を合言葉に人間力の育成を掲げている川島中学校区では、中学校

所属の英語教員が、小学校高学年の英語の授業を担当したり、研究授業をお互いに参観したり、小中合同で研究会を実施するなど、小中学校が連携した教育指導に努めている。

このように連携を深めることにより、教職員が小中学校間で目指す子どもの姿を共有でき、児童生徒の実態に応じた専門的な授業を行うことができるなど、一貫性のある教育指導の充実につながる。

③「コミュニティ・スクール」 今後はこうした取り組みによる教育効果や地域ニーズなどを踏まえ、連携型の小中学校を一層発展させ、共同性がより強い一貫型の小中学校などについて検討することも考えている。

④「コミュニティ・スクール」 保護者代表や地域住民などから構成された「学校運営協議会」が設置された学校のことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体に、特色ある学校づくりを進めることができる。

生理用品を 学校のトイレに

問 4校のトイレの個室に生理用品を設置した反応は。

答 生理用品の購入などに困っている児童生徒のために、令和3年11月から試行的に小学校1校、中学校3校に生理用品を設置し、利用状況などを把握した。

その結果、対象想定児童数が110人の小学校では、月平均約50個、対象想定生徒数200人の中学校では、月平均約200個の使用があった。

児童生徒からは「突然生理になったとき助かった」、養護教諭からは「子どもたちの安心につながる」などの声があった。

問 令和4年度は全ての小中学校に設置するのか。

答 全ての小中学校と特別支援学校の一部のトイレの個室に設置していく準備を進めている。

また一方で、生理についての知識や生理への備えを含めた対処方法を児童生徒が身に付けられるよう、教えていくことも必要であると考えている。

新総合体育館 建設基本計画

問 新総合体育館でイベント開催時の駐車場確保と渋滞対策は。

答 検討中ではあるが、現時点の計画では900台程度の来場者用駐車場を確保する予定である。

渋滞対策としては、敷地内への車両の早期誘導や、駐車場出入口を限定するとともに、誘導員の配置や分散退場を促す。

また、周辺地域には事前周知をし、当日の一般交通の流入を抑制することなどが考えられる。



新総合体育館のイメージパース（メインアリーナ）

フレイルチェックの結果をデータ化

フレイル予防の取り組みの検討材料へ

問 フレイル（虚弱）チェックで得たデータをどのように活用しているか。

答 令和3年度は、フレイルチェック大会やボランティアハウスなどで30回、延べ55人にフレイルチェックを実施した。

その結果をデータベース化して分析を行い、フレイル予防推進委員会で今後のフレイル予防の取り組みを協議するための検討材料の一つとして活用している。

また、令和4年度には、医療と健診、介護のデータも併せて分析を行い、その分析結果から高齢者の健康状態などを把握して生活習慣病やフレイル予防対策に活用する。

問 地域事業者との連携は、どのように行っているか。

答 現在、川島地区で実施されている食料品などの移動販売や、八木山地区の「ささえあいの家」で実施されているさまざまな地元事業者と連携し

た活動など、すでに地域ぐるみで取り組む体制が整っている地域もあるが、多くの地域が十分とは言えない状況である。

他の地域でも、地元の事業者と連携して地域課題の解決につながる、より地域に根差したフレイル予防を実施していけるよう市としても、先進地域の事例などを紹介させていただき、事業者も含めた地域全体でフレイル予防ができるよう支援していく。



フレイルチェックのバランス感覚テスト

新型コロナウイルス感染症に関する報告会

2月25日に新型コロナウイルス感染症に関する市の現状を確認するため、議場で報告会を行いました。

報告会では、新型コロナウイルスワクチン接種への対応について、市から報告を受けた後、議員から市に対し、質問を行いました。

市からの報告内容では、「ワクチンの3回目接種の状況は、令和4年2月24日時点で、3回目接種対象者のうち、65歳以上の59.92%、主に医療従事者となるが、18歳から64歳までの11.35%が3回目接種を終えている」との説明がありました。

その他にも「5歳から11歳までの小児へのワクチン接種について」「集団接種事故について」の説明がありました。

残骨灰に含まれる有価物の活用

問 遺族の収骨後に、火葬場に残った焼骨や灰などの残骨灰の処理は、現在どのように行われているか。

答 残骨灰の処理は、ご遺族感情に配慮して対応しており、事業者には遺骨に含まれる有害物質を適切に処理した上で、最終的に墓地へ埋葬していただくよう事業者を選定し、委託している。

問 残骨灰に含まれる金銀などの有価物の活用について市民アンケートを行う考えは。

答 残骨灰に含まれる有価物とは、これまで多くの自治体では遺骨として取り扱われてきたが、近年、資源の有効活用などの観点から、有価物として売却などをする市町村も見受けられるようになってきた。

また、環境意識の高まりなどから市民感情も変化してきていると考えられ、本市としてもアンケートを行い、市民意識の変化を把握する時期にきていると考えている。

アンケート結果を踏まえ、理解が進んでいると判断した場合は、有価物の活用について前向きに検討したい。

市民の声

こんな街が いいな！



日本一 健康な街

いまお あさこ
今尾 麻子さん（那加日吉町）

市内で美容院を営んでおり、髪のお手入れはもちろん、お客様の身体の健康にも気を使いつつ、健康と美を追求した提案をさせていただきます。

コロナ禍で健康志向がさらに強くなり、自然食品の食事や運動に気を使う方も増えていると感じながら、お客様と毎日笑って会話を楽しみ、仕事をし、健康は幸せの基本なのだと実感しています。

心も身体も健康で、輝く人で賑わい、街全体も活気と笑顔があふれる素敵な街になるといいなと思います。

日本一健康な街と言えば各務原市！を目指したいです。



在宅避難で 災害に強い街

むらこし まつろう
村越 松郎さん（鵜沼三ツ池町）

私は各務原市防災推進員をしています。

南海トラフ地震は必ず来ます。

大規模災害時には多くの方が指定の避難所へ避難されることが予想されます。

そこで、別の選択肢として在宅避難という方法を検討するにあたり、建物の耐震化、家具の固定などの室内対策、生活に必要な物資の備蓄などの事前準備が必要となります。

まず「自分の家族は自分で守る」ために、事前準備をして、在宅避難ができるような「災害に強い街」ができればいいなと思っています。



誰もが生き生きと 活躍できる街

むりょう こうじ ともしみ
無量小路 共美さん（那加前洞新町）

個人によって目指す場所、やりたいこと、楽しいこと、どういう自分でいたいのかはさまざまだと思います。

違っていい、一緒じゃなくていい、障がいがあってもなくても関係なく、自分なりの未来を目指すことができるように、障がいのある幼児、学童、成人の方々が日中に通える居場所を作りました。

そこでは、仲間と体づくりや内職などの活動の他に、地域のボランティア活動に参加することで、人と人、物と物の交流も活発にしていきます。

やってみたいを続ける、そのための観点を共に考えられたらいいなと思います。

市議会だより編集委員会より



今号より、新たなメンバーで編集を行っています。
今後も「かかみがはら市議会だより」をよろしく願います。

｜委員長｜水野盛俊 ｜副委員長｜井戸田直人
｜委員｜水野岳男 古川明美 小島博彦 津田忠孝

6月定例会の予定

6月 7日(火)	本会議（開会）
6月 20日(月)・21日(火)	本会議（質疑、一般質問）
6月 24日(金)・27日(月)	常任委員会
6月 30日(木)	本会議（閉会）

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、会議の傍聴を制限する場合がございます。

傍聴を希望される方は、事前に議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ウェブサイトをご確認ください。

また、市議会のウェブサイトから、本会議の生中継・録画映像をご覧いただけますので、ご利用ください。

かかみがはら
市議会だより

｜発行｜各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
｜電話｜058-383-2001
｜編集｜市議会だより編集委員会

市議会の詳しい情報や、
本会議の映像は、こちら
からご覧ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

UD FONT

